第３期データヘルス計画　　令和7年度評価および令和8年度改善点

		達成すべき目的	課題を解決するための目標	R5年度策定	R6	R7	R8年度中間			R11年度評価	評価見直しについて(令和7年度評価)
				(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	目標	R6→7評価	(R10)	
中長期目標		脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症による透析による医療費の伸びを抑制	脳血管疾患の総医療費に占める割合の減少	1.76%	3.84%	0.41%	0.38%	現状より減少	○	現状より減少	中長期目標では・・・ ◎総医療費に占める脳血管疾患と虚血性心疾患の割合が減った ×慢性腎不全の医療費割合は増加 健診受診により、自分の腎機能の状態を把握し、腎機能を悪化させない生活や、リスク要因を取り除くことが大切。やいまじんプロジェクトなど病診連携に特定健診を受診した人の中から繋げることも継続して行っていく。
			虚血性心疾患の総医療費に占める割合の減少	1.99%	1.27%	2.50%	2.05%	現状より減少	○	現状より減少	
			慢性腎不全（透析あり）の総医療費に占める割合の減少	0.06%	0.06%	0.09%	1.67%	現状より減少	×	現状より減少	
短期目標	アウトカム評価	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	健診受診者の高血圧受診勧奨判定値（140/90㎜Ｈｇ）以上の者の割合の減少	27.1%	25.7%	25.3%	32.4%	現状より減少	×	25%台	短期目標では・・・ ◎Ⅰ度高血圧以上の未治療者、HbA1ｃ6.5以上の者･未治療者LDL160mg/dℓ以上の者の割合が減った。 ×その他の項目については改善がない。血圧と血糖共に数値の悪い人（Ⅱ度高血圧以上・HbA１c8%以上）の人の割合が増加しており、ハイリスクへの介入は継続した保健指導・栄養指導の実施が必要。 【保健事業の主な取組】 ＊特定健診未受診者対策 ＊特定保健指導 ＊特定健診継続受診対策 ＊生活習慣病重症化予防 　メタボ+Ⅱ度高血圧以上の未治療者 　脳血管リスク層別化高リスク未治療者 ＊40歳未満早期介入 ＊糖尿病性腎症重症化予防 ＊二次健診 ＊Ⅰ度高潔圧以上の人の心電図全件実施 【改善点】 ・未受診者勧奨では、40歳代より50歳代の受診率が悪いため、50歳代を中心に訪問に取り組む ・受診率向上のためのインセンティブの内容を検討する ・ハイリスクアプローチでは自分の事として興味を持ちやすい視点からの保健指導の実施（全国と比較して死亡率の高い肝疾患・脂肪肝など） ・ハイリスク者の中でも今年度×のⅡ度高血圧以上・HbA１c8%以上の人への継続した保健指導を続けていく ・保健師・管理栄養士の人材確保
			健診受診者の高血圧受診勧奨判定値異常の者の未治療者割合の減少	22.5%	36.3%	48.4%	40.2%	現状より減少	○	20%台	
			健診受診者のⅡ度高血圧以上の者の割合減少	5.3%	4.6%	4.0%	8.0%	現状より減少	×	5.0%	
			健診受診者のHbA1c6.5%以上の割合の減少	7.5%	6.7%	8.8%	8.0%	現状より減少	○	5.0%	
			HbA1c 6.5%以上者の未治療者割合の減少	11.8%	11.4%	10.8%	7.4%	現状より減少	○	14.0%	
			健診受診者のＨbA1c8.0%以上の割合の減少	1.46%	0.9%	0.7%	1.44%	現状より減少	×	現状より減少	
			健診受診者のLDL160mg/dℓ以上者の割合減少	9.6%	6.8%	8.6%	6.4%	現状より減少	○	8.0%	
			メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少率	34.1%	35.1%	33.7%	35.2%	現状より減少	×	32%	
			特定保健指導対象者の減少率＊ (減少率：前年度の特定保健指導対象者のうち今年度に特保対象者でなくなった者の割合)	10.00%	19.70%	22.10%		現状より減少	×	現状より減少	
	アウトプット評価	特定健診受診率、特定保健指導実施率を向上し、メタボ該当者、重症化予防対象者を減少	特定健診受診率	59.2%	57.3%	60.5%	暫定値 55.9%	59.0%	×	60.0%	アウトプット評価では・・・ ×特定健診受診率は令和６年度で上昇したが、インセンティブの効果と考えられる。令和7年では減少した。 ×特定保健指導の実施率も減少。 特定健診については各島での実施を継続していく事が重要。受診行動に繋がるように島で受診できる体制を維持することに加え、インセンティブの内容も検討していく。 特定保健指導については、保健師・管理栄養士の確保ができず、介入件数も減少。
			特定保健指導実施率	66.3%	67.8%	64.9%	暫定値 59.0%	69.0%	×	72.0%	